

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI・iシェアーズ・TOPIXインデックス・ファンド（愛称：サクッとTOPIX）」は、2025年7月10日に第2期決算を行いました。

当ファンドは別に定めるETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の値動きに連動する投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第2期末（2025年7月10日）

基準価額	13,065円
純資産総額	5,699百万円
第2期	
騰落率	△1.5%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBI・iシェアーズ・TOPIXインデックス・ファンド （愛称：サクッとTOPIX）

追加型投信／国内／株式／インデックス型

交付運用報告書

第2期（決算日：2025年7月10日）

作成対象期間（2024年7月11日～2025年7月10日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<https://www.sbiasset.com/jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2024年7月11日～2025年7月10日)



期 首：13,262円

期 末：13,065円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△1.5%

(注1) ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。詳細はP12をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、期首（2024年7月10日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

(注4) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・米国の関税問題の進捗、企業活動への影響の低下
- ・米国の消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・賃上げ、インバウンドなど国内景気の好調持続
- ・新たな少額投資非課税制度（NISA）の開始

下落要因

- ・米国の関税問題の企業活動への悪影響の増大
- ・米国のインフレ率高止まりによる米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ期待の後退
- ・中国景気の低迷による世界的な需要不足への懸念
- ・ウクライナ情勢、中東情勢の緊迫化により、リスク回避が高まり

1万口当たりの費用明細

（2024年7月11日～2025年7月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 8	% 0.064	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 3 ）	（0.024）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 3 ）	（0.024）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 2 ）	（0.015）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	11	0.087	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	（11）	（0.087）	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	4	0.034	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	（ 2 ）	（0.015）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	（ 2 ）	（0.019）	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	23	0.185	
期中の平均基準価額は、12,579円です。			

（注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）消費税は報告日の税率を採用しています。

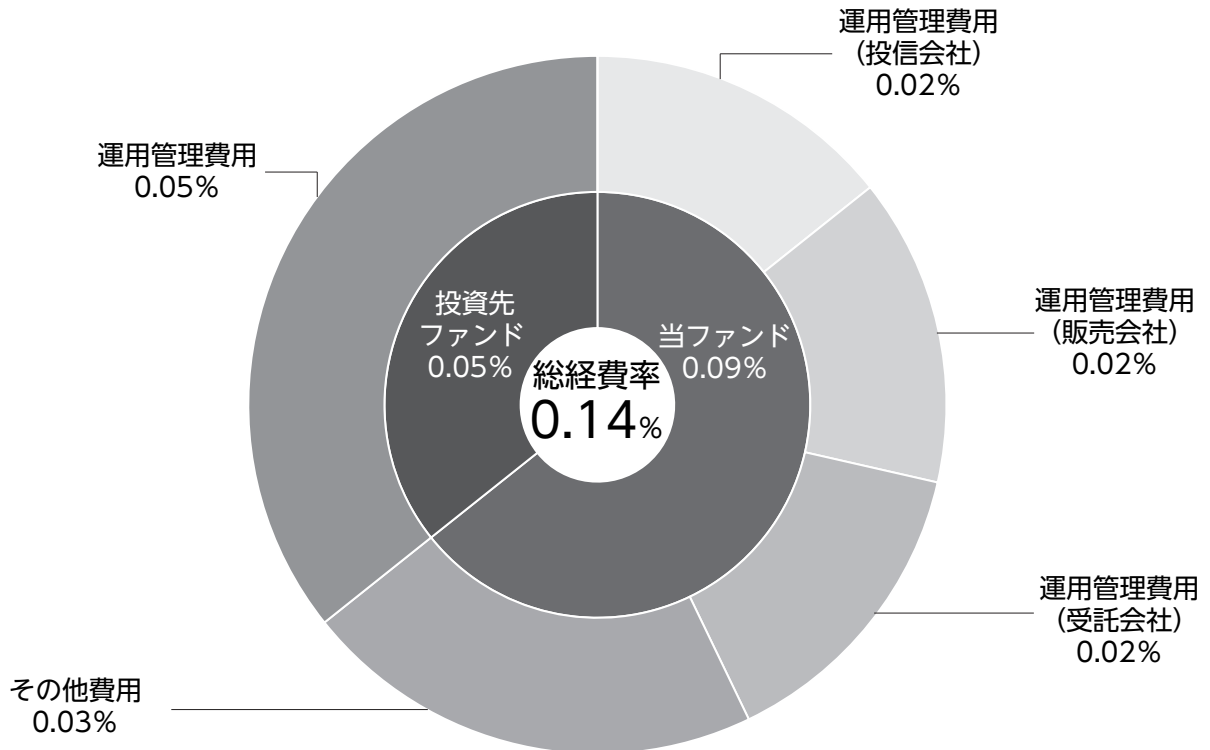
（注3）項目ごとに円未満は四捨五入しています。

（注4）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.14%です。**



総経費率 (①+②)	0.14%
①当ファンドの費用の比率	0.09%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年7月10日～2025年7月10日)



- (注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2023年7月12日～2025年7月10日）のみの記載となっています。
- (注2) ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。詳細はP12をご参照ください。
- (注3) ベンチマークは、設定日（2023年7月12日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
- (注4) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。
- (注5) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

	2023年7月12日 設定日	2024年7月10日 決算日	2025年7月10日 決算日
基準価額 (円)	10,000	13,262	13,065
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	32.6	△1.5
ベンチマーク騰落率 (%)	—	34.0	△0.9
純資産総額 (百万円)	36	3,168	5,699

- (注1) ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。詳細はP12をご参照ください。
- (注2) ベンチマークは、設定日（2023年7月12日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
- (注3) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。
- (注4) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注5) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2024年7月10日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

（2024年7月11日～2025年7月10日）

好調な企業業績と為替市場の円安を背景に、当期の東証株価指数（TOPIX）は2,900近辺から始まりました。ただし、その後は高値警戒感が強まる中、2024年7月末の日銀の政策決定会合での利上げ決定により円高に転換し、株式市場は利食い売りに押される展開となりました。8月に発表された米国雇用統計の悪化により、米国景気に対する懸念からグローバルでリスクオフの動きが強まり、日本株も大きく下落しました。この動きを受け、パウエルFRB議長が大幅な利下げを示唆したことで、株価は底入れし、反発しました。その後、一進一退の動きとなりましたが、米国の大統領選挙においてトランプ氏の優位が報道されると、財政拡大政策への期待から円安が進み、株価は上昇基調となりました。11月の選挙でトランプ氏が勝利するとともに、上下院とも共和党が過半数を獲得したことから、新政権への期待で米国株が上昇したことも、日本株の支援材料となり、年末にはTOPIXは2,800近辺まで上昇しました。年明けには、日銀が金融政策の正常化のもと利上げを実施し円高傾向となったことと、中国のAI企業「ディープシーク」が低コストのAIモデルを発表すると、これまでAI相場を牽引した半導体関連が下落し、上値の重い展開となりました。

2025年2月に入ると、米国のトランプ大統領がメキシコ、カナダ、中国に追加関税を課すとの政策を発表すると、日本株も大きく下落し、その後も関税問題が株価に大きな影響を与える相場展開となりました。4月2日にはトランプ大統領が、相互関税、全世界一律10%、日本に対しては24%と発表すると、世界的なリスクオフの動きが強まり日本株は大きく下落、4月7日にTOPIXは一時2,300割れとなりました。ただし、その直後に相互関税を90日間停止するなど、トランプ大統領が関税に関して緩和的な姿勢を示すと、日本株は大きくリバウンドし、その後もトランプ大統領の関税問題に関する発言に左右される展開となりましたが、想定以上に堅調な企業業績や自社株買いの動きにより、TOPIXは2,800台で期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（2024年7月11日～2025年7月10日）

ベンチマークである「東証株価指数（TOPIX）（配当込み）」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるiシェアーズ・コア TOPIX ETFを高位に組入れて運用を行いました。

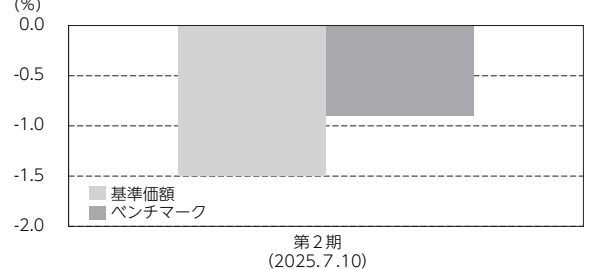
当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年7月11日～2025年7月10日）

期中における基準価額は△1.5%となり、ベンチマークである「東証株価指数（TOPIX）（配当込み）」の騰落率である△0.9%を概ね0.6%下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離）、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などの要因があげられます。

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



（注）ベンチマークは東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。詳細はP12をご参照ください。

分配金

（2024年7月11日～2025年7月10日）

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第2期
	2024年7月11日～ 2025年7月10日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,064

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の値動に連動する投資成果をめざします。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
（変更適用日：2025年4月1日）

<当該約款変更につきまして>

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

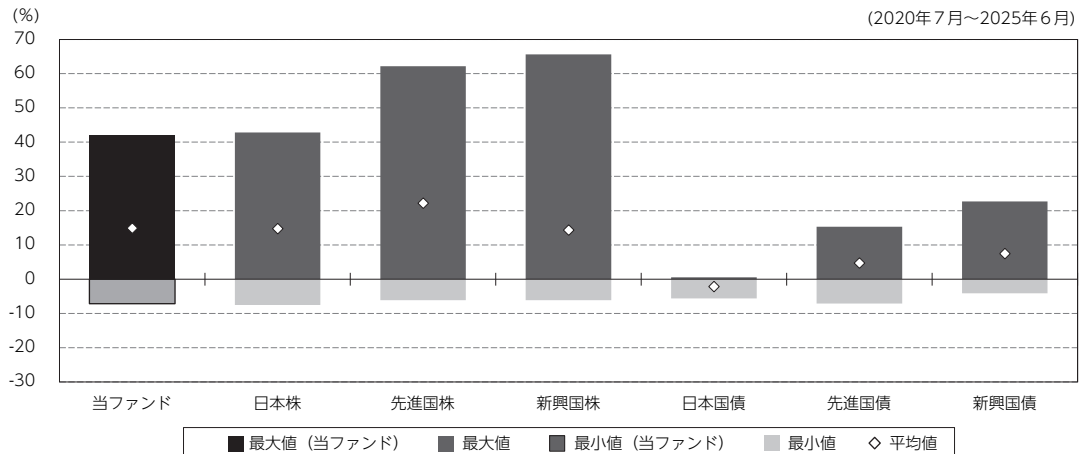
今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式／インデックス型
信 託 期 間	無期限（設定日：2023年7月12日）
運 用 方 針	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の値動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
主要投資対象	別に定めるETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運 用 方 法	別に定めるETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の値動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
分 配 方 針	年1回（毎年7月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。収益分配にあてなかった留保益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：％)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	42.1	42.8	62.2	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 7.1	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 5.6	△ 7.1	△ 4.1
平均値	14.9	14.8	22.2	14.3	△ 2.2	4.7	7.5

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2020年7月から2025年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、直近1年間の騰落率データがないため騰落率の算出はファンドのベンチマークを用いています。したがって、ファンドの実績ではありません。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P12の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年7月10日現在)

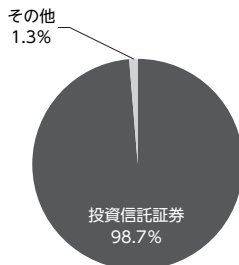
○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
iシェアーズ・コア TOPIX ETF	% 98.7
組入銘柄数	1 銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

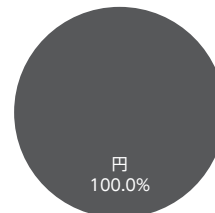
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入投資信託証券評価額に対する比率です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しております。

(注4) 通貨別配分は組入投資信託証券の債券評価額に対する比率です。

純資産等

項目	第2期末
	2025年7月10日
純資産総額	5,699,094,489円
受益権総口数	4,362,261,078口
1万口当たり基準価額	13,065円

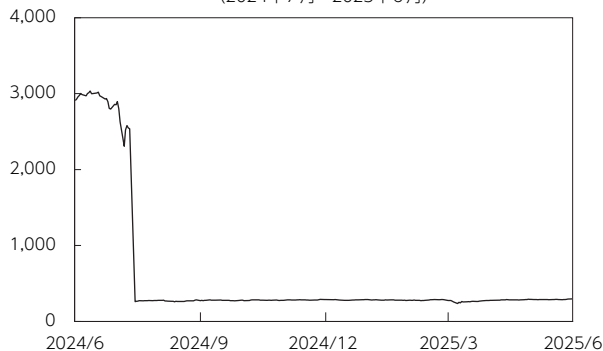
(注) 期中における追加設定元本額は3,290,857,004円、同解約元本額は1,317,394,501円です。

組入上位ファンドの概要

iシェアーズ・コア TOPIX ETF

【基準価額の推移】

(2024年7月～2025年6月)



(注) 基準価額の推移グラフ中の下落部分は、2024年8月12日現在の受益権1口につき、10口の割合で分割が行われたため、実際の価値の変動を表すものではありません。

【組入上位10銘柄】

(2025年6月末現在)

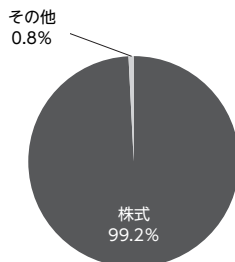
	銘柄名	比率
		%
1	トヨタ自動車	3.3
2	ソニー	3.2
3	三菱UFJフィナンシャルG	3.1
4	日立	2.7
5	任天堂	2.2
6	三井住友フィナンシャルG	1.8
7	リクルートホールディングス	1.6
8	三菱重工業	1.6
9	東京エレクトロン	1.4
10	キーエンス	1.4
組入銘柄数		1,682銘柄

(注) 比率は投資有価証券評価額（現金を含む）の合計に対する割合です。

【1万口当たりの費用明細】

入手可能な1万口当たりの費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

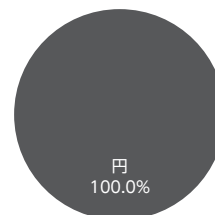
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2025年6月30日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は投資有価証券評価額（現金を含む）の合計に対する割合です。

(注3) 国別配分は株式評価額に対する比率です。

(注4) 国別配分は発行国を表示しております。

※ブラックロック・ジャパンのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

＜当ファンドのベンチマークについて＞

ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。日本の株式市場全体の動向を示す代表的な株価指数です。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

〈各指数の概要〉

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

<東証株価指数（TOPIX）（配当込み）>

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出もしくは公表の方法の変更、同指数の指数値の算出もしくは公表の停止または同指数にかかる標章もしくは商標の変更もしくは使用の停止を行うことができます。JPXは、同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標の使用に関して得られる結果ならびに特定日の同指数の指数値について、何ら保証、言及をするものではありません。JPXは、同指数の指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。また、JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本ファンドは、JPXにより提供、保証または販売されるものではありません。JPXは、本ファンドの購入者または公衆に対し、本ファンドの説明または投資のアドバイスをする義務を負いません。JPXは、SBIアセットマネジメント株式会社または本ファンドの購入者のニーズを同指数の指数値を算出する銘柄構成および計算に考慮するものではありません。以上の項目に限らず、JPXは本ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても責任を有しません。